

東北・福島+埼玉=福の玉 が生まれ、ゆっくりふくらんでいきますように...

11月号  
焚き火  
でホッと

# 福玉、便り

ふく たま だ よ り

2016年11月1日発行

通巻第54号

発行:『福玉、便り』編集委員会 NPO法人埼玉広域避難者支援センター・(一社)埼玉県労働者福祉協議会・NPO法人ハンズオン埼玉  
協力:生活クラブ生活協同組合埼玉 生活協同組合コープみらい埼玉県本部 デザイン:NPO法人ハンズオン埼玉  
連絡先:(一社)埼玉県労働者福祉協議会:〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤6-4-21 TEL048-833-8731 メール:fukutama@431279.com

## 南相馬市避難者の集いin越谷

2016年12月14日(水)

南越谷「パーティパーティ」にて  
詳細次号にてお知らせいたします。



## 福玉サロン in 坂戸

第14回福玉交流サロンin坂戸市を開催します!

- 日時 11月22日(火) 午前11時開会
- 場所 坂戸市文化センターを予定しています。
- 内容 みんなでつくってみよう! 体を動かしてみよう!

連絡先: 048-833-8731 埼玉労福協まで

12/23  
金曜日【祝日】

## 避難者交流会

2016年12月23日(金・祝) 14時-17時(13時開場)  
場所: 東京国際フォーラム(有楽町駅前)ホールD5

- 個別相談会
  - ・原子力損害賠償・廃炉等支援機構(弁護士)による専門相談
  - ・ふくしま就職応援センター、東京しごとセンターによる就職相談
  - ・東京臨床心理士会による心のケア相談
  - ・福島県居住支援協議会による住宅再建等相談
  - ・福島県宅建業協会による不動産相談
  - ・除染に関する相談
- ふくしまパネル写真展

ままカフェ@tokyo(避難されているママたちの交流会)

場所: 会議室D401 ※交流会会場の1階下のフロアになります。お子さまが遊べるスペースや「ホッ」とくつろげる場所をご用意いたしております。個別相談や交流の際に、ぜひご利用ください(13時より開始いたします)

主催: 福島県 共催: 公益財団法人さわやか福祉財団、東京都

同日開催: ふくしま大交流会フェア 11:00-17:00  
東京国際フォーラム展示ホール

## 福島の復興、自分の街を空から見るバスの旅に参加しませんか...

(ふるさとふくしま交流・相談支援事業)

- 11月23日(木)バスで埼玉新都心出発(午前9時予定)~24日(金)午後6時帰着予定
- 募集人員 30人
- 参加費(2日間の昼食、夕食時の懇親会費用として)5,000円
- 内容
  - ◎二本松菊まつりなど福島県内の視察
  - ◎復興公営住宅の見学
  - ◎川内村からヘリコプターで避難元の町や自宅周辺を遊覧飛行(3人一組)
- 申込み受付は埼玉労福協(048-833-8731)または各町復興支援員 ※11月1日から受付開始、定員になり次第締め切ります。



## 2017年も成田山に行こう!

~平成28年度成田山初詣列車の旅を開催します!~

2017年1月22日(日)

- ◎参加費 5,000円
- ◎募集人員 60名
- ◎11月14日(月)から受付開始、定員になり次第締め切ります。詳細次号にて!

048-833-8731 埼玉労福協まで(受付平日10:00~16:00)



【支援センター交流会応援事業コーナー】

## 東日本大震災記録『原発被災地・避難所の記録』上映会

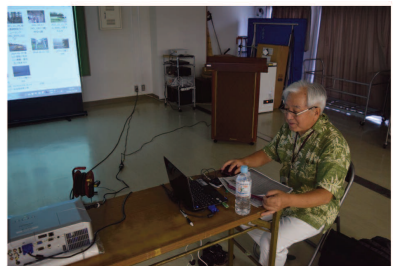
東日本大震災に咲く会ひまわり主催・NPO法人埼玉広域避難者支援センター共催

9月24日（土）、上尾市のシラコバト団地24号棟第一集会所で開催されました。「ひまわり」では、被災地に関わりの深い作家による映像作品を取り上げています。今回は浪江町大堀地区出身の高木成幸氏が、原発事故後よりずっと撮り続けてきた被災地と避難生活の様子を映したビデオ・スライド上映会でした。「帰れないふるさと」のタイトルで流される光景には、報道写真とは違い、変わってしまった故郷の姿を直視する写真家の辛さや憤りも映し出されているように感じました。作品「姉妹都市」では杉戸町と富岡町との間の支援活動をまとめたもので、こうした記録は貴重だと思います。

当日、何より感じたのは、「ひまわり」のチームワークの良さ。全員で分担し、丁寧



約20名の参加。和光市やふじみの市からの参加者も。この写真は「和光3.11を忘れない実行委員会」事務局の斉藤さんが撮影。



高木さんのスライド上映会を開催されたい方は橘さんまでご連絡ください。

な進行からは、今まで培ってきた関係と開催前の周到な準備が伝わってきました。また、最後にはカムフラさんがこの日のために特別に焼いてくださった「UFOパン」のお土産が配られました。大熊町の方々には懐かしい菓子パンだとか。ほっとする甘さでした。

最後に、代表の橘さんから住宅措置についての現状報告。パンフレットには「届け！私たちの願い」として7人の方の居住延長への訴えが記されていました。それぞれ、事情は違っても、皆の希望が叶う日まで、「ひまわり」は、集い、語り続けることでしょう。

今回の上映会は、支援センターが埼玉県共助社会づくり支援事業助成のもとで行っている交流会応援事業の第一回目の対象活動でした。こう

した場が団地の中で継続していることの意義を感じ、わずかながらも応援できたことを嬉しく思います。（支援センター・薄井）

## あゆみの会のおいもほり

10月10日（月）、越谷市の「あ

ゆみの会畑」にて、あゆみの会の交流会が開催されました。「あゆみの会畑」は、あゆみの会が越谷一步会として活動していた頃より地元の方から借りている畑で、会員の方々がじゃがいもやさつまいもの栽培を行っています。春に植えたさつまいもが大きくなって、この日に収穫イベントが企画されました。

ろ、「避難して2、3年で帰ると思っていたんですが、もう5年以上になりました。地元卓球クラブに通ったりして、近所の方々と親しくなりましたが、『なまっついてね』と指摘されると気になっ てしまいます。こういう集まりに来ると、言葉遣いを気にせずに話ができるので、親戚同士みたいで元気が出ます」とおっしゃっていました。

当日はあゆみの会の方々だけでなく、浪江町・福島県の復興支援員の方々、近隣の花田4丁目の自治会の方々も手伝いに集まって、40人以上の参加がありました。午前中に掘ったさつまいもが、お昼時にはすぐに焼きいもとなり、サンマ、なみえ焼きそば、お酒も振る舞われ、賑やかな会になりました。

晴空の体育の日には、焼きいもやサンマをご馳走になりながら、楽しい時間を一緒に過ごしていただきました。（編集部・原田）

会長の石上さん夫婦（浪江町）がおっしゃっていたのが、

「外に出て、一緒にご飯を食べること」の大切さです。会員の海老原さん（南相馬市）にもお話を聞かせていただいたとこ





## 福玉サロンinさいたま市

9月28日大宮駅前の東天紅において第13回福玉サロンinさいたま市を開催しました。42名が参加し、楽しい時間を過ごしました。今回のテーマは、「心に元気を届けたい」です。残念ながら講師を予定していた田部井淳子さんが急に体調を崩されてお越し頂けませんでしたが、講演の代わりにと送っていただいたDVDを上映して田部井さんが紹介して下さる山登りの楽しさや美しい風景を皆楽しく拝見しました。美味しい食事の後は、田部井さんのサイン入り著書の争奪戦、埼玉の方言クイズを行い、大いに盛り上がりました。方言クイズの答え合わせは、生粋の久喜っ子永田専務のネイティブな発音にて行われました。自己紹介タイムでは、皆さんの元気が出る言葉も寄せていただき、前向きな言葉や最近楽しくしていることなどで会場は笑い声に包まれました。

いくつか紹介させて頂きます！  
Q：元気が出る魔法の言葉を教えてください！

A1..どうしたもんかいのおハナ歌をうたおう

A2..今を大切に生きましょう

A3..最大のピンチは最大のチャンス

A4..「よし」と気合いを入れていきます

A5..笑うは健康のもと、毎日笑うことね

今回の企画は、福島県支援員が担当しました。次回は、坂戸市で11月頃開催予定です。

(福島県復興支援員 富永)

## コープみらいフェスタに出展しました

10月2日(日)、さいたまスーパーアリーナにて「コープみらいフェスタ」が開催され、埼玉地域避難者支援センターもブースを出展いたしました。震災復興をテーマにした「つなげよう笑顔ゾーン」で、東北や熊本県の物産販売と並んで、『福玉便り』の活動などについて紹介させて頂きました。

当日は、スーパーアリーナ近隣で交流会を月2回開いている「さいがいつながりカフェ」のスタッフの方々がお手伝いにお越しくださり、カフェ参加者の方も顔を出してくれました。フェスタ来場者の方々も、時折私たちのブースのところで立ち止まり、『福玉便り』を持って帰ってくれました。フェスタの途中では上田清司埼玉県知事も私たちのブースにも立ち寄ってください、西城戸代表理事から避難者支援の現状について説明させていただきました。埼玉県知事や埼玉県民の方々に、『福玉便り』の活動を知っていただく機会になったのなら幸いです。

ただ少し驚いたのは、交流



(編集部・原田)

### 『福玉便り』編集委員会

連絡先:(一社)埼玉県労働者福祉協議会  
電話048-833-8731

メール:fukutama@431279.com

こんな情報を掲載してほしい、この記事はよかった、など感想や質問をお寄せください。

本誌に関するご連絡はこちらまで

福玉便りお送ります。  
ご希望の方にお送りいたします。  
ご連絡お待ちしております。

福玉便りのお届け作業を一緒にやったださる方、大募集! 11月24日(木) 13:30-16:00ごろ

可能なお時間で。場所:埼玉労福協(ときわ会館)

印刷などの都合で日程が変更になるときがあります。できれば、ご一報ご確認いただければ幸いです。  
労福協048-833-8731まで



かわいかわりさん

いわき市から毛呂山町に避難。「つながり」代表

●原発事故直後のこと

2011年3月に、いわき市から避難をしました。栃木県で避難所、埼玉県の身内の家を経て、今の毛呂山町の借上住宅に引っ越し、現在もそこに住んでいます。

●離婚・体調の異変

避難をして、栃木県の避難所で警戒区域から避難した男性から「帰る場所があるやつは帰れ」と言われました。「この先どうなるのだろう」という不安から発せられた言葉だったのかもしれないが、私はその言葉がショックで、その時から「避難指示がない避難者はすべて自己責任なのだ」と思い込むようになってしまいました。



夫はいわき市に戻り仕事を再開しました。避難に

かかる生活費の仕送りはありませんでした。毛呂山町に借上住宅が決まってすぐに、子どもの保育園を決め、仕事も決め、働き始めたのです。

避難をして少ししてから、スーパーで買い物をしている時に、突然手が震え、めまいがするようになり、お酒に頼るようになり、ささいなことでも子どもを叱るようになり、笑顔の時間もほとんどありませんでした。

●「つながり」のはじまり

2014年になってからはじめ、自分と同じ境遇の人に出会いました。自主避難者向けADR説明会に行った時です。「自主避難者向け」という言葉を見て、「行って見よう」という気持ちになったんです。そこに行き、はじめて「つながり」と言えました。

それから、私は少しずつ生活を立て直していきました。パートナーをはじめ、将来のために勉強できないかという思いで、毛呂山町で「つながり」という避難者の交流会をはじめました。

定期的に賠償もなく、養育費も仕送りもなく、

ギリギリの生活の中、子どもを叱ることが増え、体調も悪化し、ある日とうとう職場で倒れ、カウンセリングを受けることになりました。ですがるように行ったカウンセリング先の先生に「あなた、お酒やめられないね」と言われてしまい、私は傷ついてしまいました。

仕事にも行けなくなり、見るに見かねた知人から生活保護を勧められました。抵抗がありましたが、子どもと生きるためには、と決断し、役所を訪れました。

2014年になってからはじめ、自分と同じ境遇の人に出会いました。自主避難者向けADR説明会に行った時です。「自主避難者向け」という言葉を見て、「行って見よう」という気持ちになったんです。そこに行き、はじめて「つながり」と言えました。

それから、私は少しずつ生活を立て直していきました。パートナーをはじめ、将来のために勉強できないかという思いで、毛呂山町で「つながり」という避難者の交流会をはじめました。

定期的に賠償もなく、養育費も仕送りもなく、

ながり」の参加者です。初めて来てくださった女性は、「こういう交流会を待っていた」と喜んでくださいました。また、最初からずっと通ってくださったおじいちゃんも、私にとって「避難指示の有無」という私の中にあつた垣根をすっかりなくしてくれた方です。また、夫婦で来てくださる方。とても良くてくださり、「つながり」がないときにも、「家に遊びに来な」と誘ってくださいます。みんな、大好きな方たちです。

私は、「自主避難のADR説明会」や、その後行った川越の「ミニカフェ」で、勇気を出して行って見たときに、すごく救われた経験があったんです。私には人を救うことはできないけど、似たような境遇の人と話すだけで、こんなにも気持ちが悪くなるんだ、と知ったから、そういう「場」を作りたい。そんな思いでした。

毎月の「つながり」で、みんながお話をして、笑顔で帰っていき姿を見ると嬉しくて、やっぱりやってよかった、と思います。そして、私もみんなにたくさんエネルギーをもらって充電されているんだと思います。

まだ、3月まで少し時間がありません。今後も、少しでも多くの自主避難者のために、埼玉県、受け入れている市町村ができることをすすめてくれると信じています。

●埼玉県による住宅支援のこと

同じころから、私は、避難住宅のために埼玉県の住宅課の方、埼玉の県議会議員などとお話をして、自主避難者の住宅の打ち切り後に、埼玉県として救済してください、と仲間と共にお願いをしました。また、心をこめてお手紙を書いて、私たちの窮状を伝えてきました。2017年3月に住宅支援が打ち切られると知って、何もせずにはいられなかったからです。

いま、私は、県営住宅の自主避難枠に申し込みをし、何とか先行きが見通せる状況に落ち着きました。埼玉県の施策には感謝していますが、それでも、家賃負担が3月より早く発生してしまう問題、その応募の枠から外れてしまう人や、引っ越しを余儀無くされてしまう人が出てしまいました。

まだ、3月まで少し時間がありません。今後も、少しでも多くの自主避難者のために、埼玉県、受け入れている市町村ができることをすすめてくれると信じています。

(聞き手、編集部・吉田)

## 自主避難者の優先枠説明会 (10月)

10月6日、市民会館うらわにて、埼玉県在住宅課による自主避難者への県営住宅優先枠に関する説明会が開催されました。当日の参加は約20名。一方、埼玉県からは6名の職員と、福島県から1名の職員が参加しました。

県営住宅とは、定額所得者に対して低廉な家賃（収入申告に基づきますが、およそ3万円前後）で賃貸するもので、年4回募集があります。今年度の残りは現在では1月のみとなっています。抽選がありますが、自主避難者枠に関しては、自主避難者だけが応募できます。一般枠ではなく引きの際に、2割の優遇措置を行っているようです。埼玉県としては3月末までに残り1回の機会を活用してほしいというお話がありました。県営住宅を検討されている方は、1月にも説明会を行いますので、ぜひご参加ください。

県営住宅には入居者資格があります。

- ① 単身者対応住宅を除き、基本的には同居親族のいる人向け。
- ② 世帯全員の収入月額が指定の範囲内であること。
- ③ 埼玉県内に住所又は勤務場所があること。ただし避難した方の場合は、住民票が福島県にあっても、埼玉県に居住実態があれば可能となる。
- ④ 暴力団員でないこと。
- ⑤ 持ち家が、子ども被災者支援法に



おける支援対象地域（自主避難地域）であれば困窮とみなしている。⑥ 入居手続きまでに県民税・市町村民税の滞納がないこと。

また、10月の議会で、上尾シラクバト団地は、自主避難者であれば誰でも応募できるよう、条例の改正が行われました。県が独自に設置した団地であるため、それが可能となったそうです。上記の①と②を撤廃するというもの。単身者や収入の上限を超えた人でも応募ができません。現在、50戸程度の募集枠を作るとのことです。詳細が決定次第、お知らせします。

そして、今後、避難指示解除がすすみ、「自主避難」という状況になつてしまう方も増えていきます。そのことにも、埼玉県として対応していきたい、というお話もありました。

問い合わせ  
埼玉県住宅課  
(編集部・吉田)

048・830・5564

▼福島県外避難者相談センター

フリーダイヤル：0120・60・7722

## 羽生で無農薬米を作っています—双葉出身の山田和男さん

生活クラブ生協・埼玉が、地元の農家（羽生米クラブ）と農協と一緒に無農薬米づくりの試みをしています。その無農薬米を作っている農家の一人が、双葉町から避難した山田和男さんです。9月25日に羽生市で行われた収穫イベントに参加し、山田さんにお話を伺ってきました（編集部・西城戸）。

きたのは農機具ぐらいいで、それも持ってきた時は埼玉県から放射線検査をされて大変でした」と震災後の様子を山田さんは話してくれました。

山田和男さんは家族四人で双葉町から田村市を経由して、親族がいる神奈川に2011年3月まで避難されています。その後、双葉町民がさいたまスパーアリーナにいたことを知り、旧騎西高校に2、3週間滞在した後、鴻巣市の県営住宅で避難生活をされました。山田さんは、双葉町で、環境に配慮した農業資材（紙マルチ）を使った農業や、有機栽培の米づくりをし、認定農業者でもありました。平成24年に羽生市から「羽生に来て農業をしませんか」と言われたことを受けて、現在は羽生市に居住し、10町歩の稲作を行っています。農家の高齢化のため、耕作放棄地に悩んでいた羽生市は、山田さんのために空き家屋の手配などを行ったそうです。

また、「仲間の認定農業者は30人位いましたが、高齢のために辞めてしまつて今、農業をやっているのは5、6人です。確かに、農業で生活するのは大変で、もう少し農機具があれば、もっと工夫した農業ができるのですが。昨年末から双葉町役場が全町民に配る品に、双葉出身で、埼玉県で農業を再開した農家の米をいれてくれるようになりました。お米を食べた人から『おいしかった』と言われました」と、現在の米作りの意気込みも語ってくれました。



「双葉に帰りたいという思いはあるけれど、でも帰れない。自宅の中は地震でぐちゃぐちゃになり、今は野生動物に荒らされています。自宅から持っ

生活クラブ生協・埼玉では、昨年度より「無農薬米を食べたい」という組合員が生産者とともに無農薬栽培に取り組み「はにゅう無農薬米」を企画し、田植えから雑草取り、収穫までを組合員参加で行っています。この活動から、労力やリスクにも関わらず、2名の生産者が無農薬栽培に取り組み、生活クラブ向けに無農薬米を販売していただけることになりました。そのうちの1名が山田さんです。生産者とともに農産物のあり方を考える生活クラブ生協の組合員と、山田さんの今後の活躍を期待が集まります。



倉嶋要三さん

大熊町↓埼玉県鶴ヶ島市

3・11の日は、会社に居ました。2時46分に地震があつてすごい揺れて。4時くらいにはみんな帰宅させられました。電気が停まり、私は行政区の公民館に行きました。みんな公民館に避難してきていましたね。発電機持っている人が持つてきて、みんなテレビを観ていたんです。夜は大熊中学校の体育館で家族―母親と妻とで過ごしました。500人くらいいたかな。みんな雑魚寝っていうか、ほとんど寝てなかった。

翌日、バスで避難するようにって言われてね。朝の8時くらいだったかな、私は、同じ部落のお年寄りと一緒に行ききました。妻と母親は親せきと一緒に避難をして、別行動でした。埼玉に来るまでバラバラでしたよ。バスに乗るのも、家族単位というよりはそこにいる人がほとんどバスに乗った感じでした。うちに帰るとかは一切できない感じ。原発のことはつきり分かっていませんでしたけど、少しずつ不安になる感じはありましたね。1Fで仕事している人も

たくさん身近にいたからね。田村市の都路というところについて、おにぎりとか炊き出しをもらつて。体育館は古くてね。余震もあったから怖かった。1号機が爆発したのも、周りの人から聞いたかな。テレビはなかったからラジオですね。みんな一緒に行動するというか、なるようにしかならない。…というか。300人くらいいたのかな。3月13日の朝早くに「もっと遠くに行きなさい」と言われて、バスにまた乗りました。身をゆだねるしかない、という感じ。田村市の都路から船引に移動して小学校に泊りました。雪が残っていて、グラウンドがぐちゃぐちゃだったのを覚えてます。



14日にもまた移動です。田村市のデンソーという会社に移動しました。そこにはテレビがあつて、3号機の爆発はテレビでみましたね。とにかく、来たバスで行ったり来たりしてました。そこで初めて温かい食べ物を食べたんですよ。炊き出しでラーメンでした。本当に寒かつたんです。車も置いてきてしまったので、なすがままです。「このあ

と、何が食べられるだろう」ということしか考えられないような状況でした。その日の夕方に、ようやく連絡がついた親せきたちと、三春町で落ち合つて、関東方面から迎えに来てくれる息子たちを待ちました。9人でワゴン車1台に乗つて、15日の明け方に関東のほうに出発しました。そのころ、ガソリンがなくて。友だちに連絡して10リットルもらつて、足りないからまた埼玉に入つてから友だちにもらつたりして…15日の15時か16時くらいかな。やっと次男の住んでいる埼玉のマンションに到着しました。そのマンションの管理人さんをお願いして、マンションの集会所で寝ました。それからはずつと早かったです。17日には埼玉県の朝霞市役所に行つて住むところがなにかどうか聞きに行つたんです。でも借りられるところがなかった。インターネットでいろいろ調べて、翌日の18日にはUR住宅の申し込みに行きました。親せき同志、一緒に住めないかどうかが聞いたりして。19日にはもう鍵を取りに行つて、20日にはUR住宅に入っていましたよ。その時は6か月の契約でした。家電はリサイクルショップで探して、できるだけ1000円で揃つて物をそろえて。幸い、同じUR住宅に4世帯借りて、親せきが近くに住めたんです。避難生活は長くなるだろうな、とそのころには思っていましたね。キエルノブイリを知っていたから。とりあえず必要なものをそろえなくちゃ。…とちやぶちやぶ6000円で買つたり。当時は賠償が出るなんてことも分かんかったから安いものを買つた。というのがベースになっていました。

2014年の6月になって、今の家を買いました。URの時から鶴ヶ島市にお世話になつていたので、そのまま住みたいと思えました。当時は家を買つたけれど嬉しかったわけではなくて、ここに住みたかったわけじゃない。…と思つたんです。いわき市に行きたにも近いし、母親がデイサービスにも通つていたので…母は楽しみにしていましたから。それを優先しました。

大熊町の家は、中間貯蔵になることになっていきます。インシシが住みついちゃつて。去年の12月にはウリボウが3匹もいました。中間貯蔵になるのは、そうするのが当たり前なのかな。…とも思います。候補地が、栃木県とか、他県にありましたが、そこ住民は反対しますよね。それは当然だと思ふんです。立地自治体でやるしかないのかな。…と。

とりあえず、ここで過ごさなくちゃいけないな、と今は思つています。こちらの地域の老人会にも入つたり、ラジオ体操をしたり、仲良くしていけたらいいかな。と。

今年の2月から「埼玉大熊友の会」も立ち上げました。年に6回、イベントのようなことを計画しています。先月は巾着田に行く予定だったので、台風が来てしまつて。1日前に中止を決定しました。来月には、みんなが柴又ぶらり散歩をやる予定で、はとバスを借りました。今のところ41名の参加者です。今回は申し込みを切つてしまったのですが、興味のある方は、ぜひご連絡いただければと思います。090-7934-8508 (倉嶋)

(聞き手・編集部・吉田)

# シニア・ドリーム・フェスタ

平成28年11月12日(土)10時～16時

場所:ウエスタ川越(入場無料)

JR川越線東武東上線「川越駅」西口より徒歩5分 西武新宿線「本川越駅」より徒歩約15分

埼玉県が主催する「シニア ドリーム フェスタ in SAITAMA」において、支援センターは活動紹介のパネル展示を行います。他のブースでは、これからも働きたい、ボランティアや趣味などで地域デビューしたいというシニアの方々にお役に立つ相談や情報が用意されています。また、会場全体では、誰もが楽しんでいただける内容が盛りだくさん。皆様、ブースにいる薄井の応援も兼ねてのご来場をお待ちしています。



(1)まだまだ働きたいあなたへ～しごと～ 合同企業説明会/就職や起業相談、職業訓練の紹介/シルバー人材センターの紹介 他

(2)地域活動のきっかけを見つけたいあなたへ～地域デビュー～/NPOやボランティア団体情報検索、活動団体の紹介コーナー/ボランティア相談、専門家ボランティアへの登録 他

(3)豊かな暮らしのために ～健康や趣味～/介護予防体操体験コーナー/ヨガ体験コーナー/趣味の作品展示会、ワークショップ

(4)とにかく楽しみたい

☆同時開催イベント:ウエスタ川越「第2回 県

民ふれあいフェスタ」周辺市町のキャラクターステージやご当地グルメの紹介、販売 他



渡辺正行トークショー



つのだ☆ひろとおやじバンド演奏

今号の発行は、生活クラブ生活協同組合埼玉の皆様のご支援をいただきました。ありがとうございました。

## 生活クラブ生協は、 福島へ寄り添いながら歩みつづけます

生活クラブ埼玉は埼玉県内で活動している生協です。31,000人の組合員が加入しており、県内58市町で活動をおこなっています。主な事業は食材の購買事業(宅配事業)ですが、その食材や活動については、私たちの理念である「自然と共生し、食べもの(Food)、エネルギー(Energy)、ケア(Care)をできる限り自給・循環させる『サステイナブル(持続可能)な生き方』を選択する」が反映されています。

その理念の下、生活クラブ生協では、2011年東日本大震災を受け、被災された方に寄り添い共に復興の道を歩むべく、毎年組合員にカンパを募り復興支援活動をおこなっています。NPOホームレス支援ネットワークとグリーンコープ共同

体そして生活クラブ生協連合会各都道府県の生活クラブが加盟する連合体)の三者で公益財団法人「共生地域創造財団」を設立し、宮城県や福島県(新地町)を中心に、地域や人々の暮らしの再建を伴走型支援(寄り添い)の形で取り組んでいます。

また福島第一原発事故後、放射能による健康への不安から「子どもの健康」という視点で、生活クラブふくしまと生活クラブ埼玉の組合員の間で交流もおこなわれています。

子どもたちの保養と福島組合員との交流を兼ねたリフレッシュツアーは、今年で5回目の開催となりました。初めて会った子ども久しぶりの子ども自然の中で元気づけ遊び子どもたち。埼玉の子ども福島

の子も川遊びや虫取り、スイカ割に、花火。おなかを抱えて笑ったり真剣に遊びました。リフレッシュツアーは、子どもはもちろん親の保養にもなっています。そして受け入れる私たちにとっても被災された方々と交流することで、今お互いの気持ちを共有する場となっています。

その中で組合員にとって子どもの甲状腺癌は不安要素の一つです。私たちは政府や福島県による甲状腺検査の監視を続けながら、子どもたちの健康と未来を守る活動として、医療機関、生活クラブふくしまをはじめとする各都道府県にある生活クラブ生協が連携し、子どもの甲状腺検査活動を実施しています。福島県の子どものみならず、全国の生活クラブ生協の組合員へ呼び掛け、2015年度は799名の検査をおこないました。検査活動は早期発見の視点と検査結果から子どもの甲状腺癌の実態を明らかにしていくことを目的としています。放射能による汚染は県で区切られるものではありません。日本全体で捉え、多くの人々と共に考え、私たちの活動が少しでも不安を解決するための一助になればと考えています。

近年、生活に対する不安は年々高まっております。私たちは一人ひとりの不安を当事者だけによる解決ではなく、共感者を増やし、おおいの人々の関わりの中で解決していきたいと考えています。

これからも生活クラブ埼玉は被災者へ寄り添いながら歩み続けます。



サステイナブルなひと、



生活クラブ

生活クラブ生活協同組合・埼玉

〒336-0021 埼玉県さいたま市南区別所 5-1-11

TEL : 048-839-4881 FAX : 048-839-4899

URL : <http://www.seikatsuclub-saitama.coop/>

こちらのサイトにも情報があります。  
<http://431279.com/>  
 (SSN震災支援ネットワーク埼玉)

**32 福玉・謡曲の会**  
 11/27(日)、12/10(土) 10:30~12:00 With You さいたま和室  
 ☎090-6128-1948 (小林さん)

**33 つながり**  
 毛呂山町 ☎090-9032-8116 河井さん

1日(火)
2日(水) 14
3日(木)
4日(金)
5日(土) 8
6日(日) 10
7日(月)
8日(火)
9日(水)
10日(木) 17 19 3
11日(金)
12日(土) 24 28
13日(日) 16 23 24
14日(月)
15日(火)
16日(水) 18
17日(木) 1
18日(金)
19日(土)
20日(日) 27 15
21日(月)
22日(火)
23日(水)
24日(木) 19
25日(金)
26日 23
27日 25 32
28日
29日
30日



**19 さいがい・つながりカフェ**  
 月2回木曜日 11:00~15:00  
 11/10(木)、11/24(木)、12/8(木)、12/22(木)  
 With You さいたま 4F 和室  
 (埼玉県男女共同参画センター・新都心駅7分) ☎048-601-3111 さいがい・つながりカフェ

**22 浪江のしゃべり場**  
 浪江町の復興支援員が常駐しています。お気軽に遊びに来てください。  
 月曜日~金曜日 10:00~17:00  
 浪江町復興支援員 埼玉事務所  
 さいたま市 ☎048-833-8731 (埼玉労協)

**23 和光3・11 つながりカフェ**  
 11/13(日)「和光市民まつり」にて東日本大震災・熊本地震被災地の応援ブース設置  
 10:00~15:00 和光市役所  
 11/26(土)「ゆめあい和光まつり」にて、カフェで関わってきた支援団体が出店 10:00~15:00 和光市総合福祉会館  
 ☎048-452-7606 (和光市ボランティアセンター)

**24 新座さいがい つながりカフェ**  
 11/12(土)交流会  
 12/17(土)クリスマス・納会  
 13:30~ 栄公民館 2F 研修室  
 11/13(日)和光市民まつり・11/26(土)和光ゆめあい祭りに出店  
 新座市 ☎090-2402-9155 (谷森さん)  
 ☎080-6023-2799 (福地さん)

**25 青空あおぞら**  
 11/27(日) 13:30~16:00  
 新所沢公民館 2F 和室1号 (法律相談可能、お子様OK、いすもご利用いただけます)  
 12/18(日) 時間・場所調整中  
 所沢市 ☎048-829-7400 (SSN)

**26 お茶飲み交流会**  
 隔月1回 10:00~12:30  
 ☎049-251-2711 (富士見市安心安全課 梶田さん)

**27 おあがんなんしょ**  
 11/20(日) 13:00~  
 オレゴン縦でクリスマスアレンジ  
 12/18(日) 13:00~  
 クリスマス会&年忘れ会  
 フクトピア  
 ☎090-5345-8408 (松館さん)

**28 ここカフェ@川越**  
 心の内を話せる場、お子様連れも大歓迎です。毎月1回  
 11/12(土)・13(日) 帰還者との交流会 スパリゾートハワイアンズ宿泊、アクアマリン被災地見学、他 12/13(火) 10:00~15:00 JUNホール  
 ☎070-5594-0053 (鈴木さん)

**29 鳩のつどい**  
 月2回 10:00~12:00  
 JAXA鳩山宿舎108号室  
 ☎049-296-1241 (鳩山町健康福祉課)

**5 ぴえろの遊び広場**  
 12/4(土) 10:00~14:00  
 加須ふれあいセンター  
 sai.jacdp@gmail.com (坂本さん)

**6 負けねっちゃきり**  
 石巻から伊奈町に避難されている高橋さんが呼びかけています。どなたでもどうぞ。  
 伊奈町 ☎090-7244-9267 (高橋さん)

**7 向原団地被災者の会**  
 時々交流会しながら、つながって行きましょう(\*o\*) ^ (^~\*)  
 上尾市 ☎080-6044-2922 (冨永さん)

**8 東日本大震災に咲く会 ひまわり**  
 毎月第1土曜日  
 11/5(土) 会合 10:00~12:00 シラコバト団地第一集会所  
 12/3(土) 会合 15:00~17:00 シラコバト団地和室  
 12/10(土) 忘年会 12:00~17:00 シラコバト団地第一集会所 (飲物、料理持参)  
 上尾市 ☎048-607-6723 (団地自治会事務所) ☎080-3091-6215 (橘さん)

**10 くまがや結の会 熊谷市**  
 11/6(日) 日帰り旅行  
 善光寺詣り・真田丸記念館  
 090-7661-9236 (林崎さん)

**11 羽生つながりカフェ**  
 羽生市 ☎080-5532-7380 (薄井さん)

**12 お茶っこふるさと会**  
 久喜市 ☎090-6855-7140 (木幡さん)

**13 杉戸元気会 つつじの里サロン**  
 ☎0480-33-3455 (佐藤さん)

**14 春日部つながりカフェ**  
 11/2(水)、12/7(水) 13:30~16:00 コーププラザ春日部 (法律相談可能)  
 ☎048-829-7400 (SSN)

**15 ひだまり広場**  
 月1回 参加費無料 11/20(日)、12/18(日) 12:30~16:30  
 ほっと越谷 (北越谷駅東口1分)  
 ☎090-6456-5497 (今野さん)

**16 あゆみの会**  
 11/13(日) 羽生農協祭りにて、なみえ焼きそば販売 10:00~  
 越谷市 ☎090-9425-2001 (石上さん)

**17 つながりの会**  
 11/10(木)、12/8(木)  
 東北復興支援販売  
 草加市物産・観光情報センター  
 ☎048-932-6770 (草加市社協地域福祉担当)

**18 ひまわりの会**  
 11/16(水)、12/21(水)  
 やすらぎ会館  
 ☎080-5431-0123 (島田さん・留守電)

1日(木) 3
2日(金)
3日(土) 8
4日(日) 5
5日(月)
6日(火)
7日(水) 14
8日(木) 17 19
9日(金)
10日(土) 8 32
11日(日)
12日(月)
13日(火) 28
14日(水)
15日(木) 1
16日(金)
17日(土) 24
18日(日) 15 25 27
19日(月)
20日(火)
21日(水) 18
22日(木) 19
23日(金)
24日(土)
25日(日)
26日(月)
27日(火)
28日(水)
29日(木)
30日(金)
31日(土)



**1 双葉町民による ボランティアカフェ**  
 11/17(木)、12/15(木) 10:00~15:00 (法律・こころの相談可能)  
 いきいきサポートセンター (双葉町社会福祉協議会 加須事務所)  
 加須市駒西501-13 ☎048-829-7400 SSN

**3 双葉町老人クラブ女性会 & さいがいつながりカフェ**  
 11/10(木)、12/1(木) 10:00~12:00  
 いきいきサポートセンター (双葉町社会福祉協議会 加須事務所)  
 ☎080-5532-7380 (薄井さん)

**4 寄り添いステーション ころっせくわっせ双葉**  
 寄り添いステーション駒西  
 加須市正能11-5 ☎090-1650-2874 (富沢さん)

**ぼろろん♪の時間**  
 11/11(金) 交流会 10:00~14:00 大宮ネット21  
 cheer@kxa.biglobe.ne.jp (吉田さん)、070-5594-0053 (鈴木さん)